

大学主催の 災害廃棄物の講座

京都府宇治市

- 人口※ 174,247 人
- 自治会加入率 59%
- 実施時期 令和 5 年度

※令和 6 年 12 月 10 日時点自治体ホームページ掲載情報

取組むことになったきっかけ

近年日本各地で大きな災害が相次いでいることを背景に、京都文教大学では、地域の住民、社会人の方を対象に連続講座を行っています。地域住民による地域防災力の向上が重要となっていることを踏まえ、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の防災意識を高め、自主防災活動が活性化することを目的としたものです。

その一環として、宇治市が講演を依頼され、災害廃棄物の講座を実施しました。



取組内容

京都文教大学「地域防災人材育成講座 2022」で『被災地支援の現場からみた災害廃棄物の現状と課題』をテーマに宇治市職員が説明しました。

講師：岩崎 享史 氏（宇治市人権環境部 まち美化推進課）

- 宇治市職員による被災地支援活動と被災地の詳しい状況
- 活動を通して感じたことや気づいた課題
- 宇治市の災害廃棄物対策の取組

主催：京都文教大学 地域志向教育研究 ともいき研究助成

「地域防災人材の育成と防災意識の向上に関する研究」

連携：宇治市 危機管理室・まち美化推進課

参加者：親子連れなど地域住民約 20 名 ※講座終了後、オンライン配信

自治体の声

近年、防災に関するメディア報道が増える中で、災害廃棄物というコンテンツに関する情報源は、ほぼ行政のみとなっており、住民全体へ浸透させるにはまだまだ時間がかかる印象です。大学が主催した講座によって参加者に災害廃棄物の分別の重要性や災害廃棄物を減らすためにできることなど、新たな気づきがあったと思います。宇治市では、年数回開催される住民向けごみ分別などの出前講座に災害廃棄物に関するコンテンツを盛り込んで説明し、参加者にハンドブックを提供しています。また、SNS を使用するなど地道な周知を継続して行っていくことで、すべてのステークホルダーに意識が醸成されていくものと期待しています。